

LGBTについて

生活困窮者について 徳野 衆 議員

問 ①LGBTの理解と周知を広げる取組みや、教育現場での生徒・教員への啓発を要望したが成果は？ 小学校トイレ改修での多目的トイレ設置は？ ②生活困窮者の相談先がわかるよう市ホームページへの掲載やチラシ等の作成をすべきだがどうか？

答 ①啓発パンフレットやレインボーマークの活用により積極的に支援して参ります。教職員対象の研修で当事者の方に体験をもとに話をしてもらっています。中学生にパンフレットを配布し学習を進めております。トイレ全面改修事業では各学校に1か所の多目的トイレの設置を検討しております。②今年度中に市ホームページへの掲載やチラシの作成を行います。

子どもの命を守る体制と学習の保障について

西村 千鶴子 議員

問 「ASU」にも通えない不登校の子ども達の為に、SNSを活用した相談体制の構築、関係機関連携のためのコーディネーター配置や、ICTを活用した学習支援体制の整備など、国の「不登校児童・生徒に対する教育機会の確保の推進」の予算を活用し、居場所づくりや学習支援体制づくりを進めてほしい。市の方針は？

答 現在のところ学科指導教室「ASU」以外の学習支援の場を新設することは難しいのですが、ICTを活用した学習支援等、新たな学習支援の方法を研究してまいります。加えて、NPO法人が運営するフリースクールや不登校親の会など、様々な地域や民間団体と連携し、その協力を得ることなどいろいろな方策を考えてまいります。

子供の教育環境の整備について

金銅 成悟 議員

問 ①学校現場で問題が発生した時、教育委員会はどのように対応されるのかお聞きます。②教員と子どもの向かい合う時間が少なくなったと耳にしますが、その原因についてお聞きます。③小学校の卒業式・入学式の服装が年々華美になっているように感じますが、制服の導入について、どのように考えておられるのかお聞きます。

答 ①学校で対応困難な問題については、学校と連携を密にし、指導・対応を行い、問題解決に取り組んでまいります。②事務量の増加などが原因であり、教員の負担を減らすため、学校における働き方改革に取り組んでまいります。③制服導入については、引き続きPTAや保護者等の意見を聞き、検討する必要があると考えています。

高齢者福祉について

福田 浩実 議員

問 ①「大和郡山市地域福祉計画」を今後どのように活かしていくのか市長にお尋ねします。②介護支援ボランティアポイント制度・健康マイレージポイント事業導入についてのお考えは？ ③矢田地区に第5地域包括支援センター設置を強く要望しますがお考えは？

答 ①近所づきあいの希薄化が見られるなか、地域の助け合い、つながりを結びつける出会いの場を創り、子供から高齢者まで共に生きる地域づくりを進めます。②ボランティアポイント制度、健康マイレージ事業については、先進地の動向を見ながら検討します。③矢田地区の地域包括支援センター設置は、市役所内の地域包括支援センターのあり方も含め検討しています。

小学校卒業式における服装について

丸谷 利一 議員

問 最近、一部の小学校の卒業式で児童が袴を着用するなど派手な服装が目立つ。これらの学校では服装の自由化を採用しているが、服装の自由化は、保護者の生活実態が表面化し児童間の優劣感が生まれ、いじめの要因にもなる。服装の制服化は子供たちに社会人としての規律や協調性に必要。卒業式の服装で、自粛通知は出せないか。

答 卒業式の服装については、各学校で「学校だより」や「校長通信」、PTAでの話し合い等で卒業式の服装が華美にならないように保護者に要請を行ってまいりました。基本的には、学校と保護者が話し合い、理解を得ながら円滑に進めることが良いと考えております。今後も、私服登校の4校の校長と協議を継続してまいります。

公園や小学校における屋外遊具について

関本 真樹 議員

問 公園の遊具が減少傾向にあり、小学校の遊具についても直近5年間で更新、新設がありません。こどもの心身の発達に重要な役割を果たしている遊具について、今後の整備やリニューアルの方針をお聞かせください。

答 遊具は、多様な遊びの機会を提供し、遊びを促進させる大切なものであると考えており、その必要性について十分に認識しておりますが、大部分の施設が設置から年数が経過している状況にあり、安全確保のための点検と修繕対応を最優先としている現状にあります。また、施設に対する要望も多様化していることから、施設の更新を行う場合には、利用者の声をしっかりと聞き対応していきたいと考えています。